



2024年10月18日

各位

上場会社名 株式会社ショクブン  
 代表者 代表取締役社長 吉田 朋春  
 (コード番号 9969)  
 問合せ先責任者 経理財務部長 宮原 利彦  
 (TEL 052-773-1011)

## 繰延税金資産の取り崩し並びに、第2四半期累計期間業績及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は下記の通り繰延税金資産の取り崩しを行い、2024年5月13日に公表しました、2025年3月期第2四半期累計期間業績予想及び通期業績予想について、修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 繰延税金資産の取り崩し

当期の業績及び業績見通しを踏まえ、今後の繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、当第2四半期において繰延税金資産を取り崩し、法人税等調整額を46百万円計上する予定です。

### 2. 業績予想の修正について

(1) 2025年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	3,265	40	40	30	1.96
今回修正予想(B)	2,899	△63	△68	△124	△8.09
増減額(B-A)	△366	△103	△108	△154	
増減率(%)	△11.2	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(2024年3月期第2四半期)	3,109	△30	△32	△47	△3.08

(2) 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	6,754	145	145	145	9.45
今回修正予想(B)	6,072	0	△13	△80	△5.23
増減額(B-A)	△682	△145	△158	△225	
増減率(%)	△10.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績(2024年3月期)	6,393	51	50	△15	△1.03

(3) 2025年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	3,265	40	40	30	1.96
今回修正予想(B)	2,897	△63	△66	△122	△7.96
増減額(B-A)	△368	△103	△106	△152	
増減率(%)	△11.3	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(2024年3月期第2四半期)	3,109	△29	△30	△44	△2.89

(4) 2025年3月期通期個別業績予想数値の修正(2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,754	百万円 145	百万円 145	百万円 145	円銭 9.45
今回修正予想(B)	6,069	1	△9	△76	△4.98
増減額(B-A)	△685	△144	△154	△221	
増減率(%)	△10.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2024年3月期)	6,390	52	53	△14	△0.94

3. 修正の理由

(1) 第2四半期連結累計期間業績予想

当第2四半期連結累計期間につきましては、物価上昇が続き、消費者の可処分所得の減少等の影響により、売上高は前回発表予想を下回る見込みです。また、製造拠点における製造工程の見直しや、配送効率の改善等を進め、製造経費、販売管理費の削減に努めてきましたが、1.繰延税金資産の取り崩しに記載の要因もあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益いずれも前回発表予想を下回る見込みです。

これらの理由により、28億99百万円の売上高、63百万円の営業損失、68百万円の経常損失、1億24百万円の親会社株主に帰属する中間純損失となる見込みです。

(2) 通期連結業績予想

通期の業績見通しにつきましては、第2四半期連結累計期間業績の与える影響が大きく、また、下期においても継続して影響すると考えられることから、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも従来予想を下回る見込みです。

しかしながら、当社最大の繁忙期である12月の商戦を控えていることから、最大限業績に反映できるよう取り組んでまいります。

以上のことから、通期連結業績予想につきましては、60億72百万円の売上高、0百万円の営業利益、13百万円の経常損失、80百万円の親会社株主に帰属する当期純損失となる見込みです。

(3) 第2四半期累計期間個別業績予想及び通期個別業績予想

個別の第2四半期累計期間業績予想及び個別業績予想につきましても、連結と同様の理由により修正いたします。

※ 業績予想等につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上